

図書館基本構想実施状況(R1～R4)

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	R4年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R5年度～実施または予定している内容	備考
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(2)リージョンセンター・公民館等	各施設の運営主体と連携・調整し図書スペースの改善に努める。また、身近なリージョンセンターでも市立図書館の本が利用できるように努める			実施項目	○		○	○	実施	令和3年11月より、楠根・布施駅前市民プラザで出張図書館を実施し、リージョンセンターにおいて図書館サービスを提供できるようにした。R4年7月より出張図書館による読み聞かせを開始。また、出張図書館へのタブレット持参を開始。	R2.2	依頼があれば継続して実施する。	
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(3)団体貸出の強化	各種団体等へ団体貸出を紹介し、その効果的な使い方を提案し、利用促進に努める			実施項目	○	○	○	○	実施	H30年度からR元年度まで特別養護老人ホーム「レーベンスボルト」へ団体貸出を実施した。R2年4月からは特別養護老人ホーム「レーベンスラウム」への団体貸出に変更している。老人ホーム内に永和図書館ミニ図書室を作られ利用いただいている。	H30.7	継続して実施する。	
							実施項目	○	○	○	○	実施	H29年度より、たまがわ高等支援学校、大阪府立みどり清朋高校への団体貸出を実施。R3年度は、府立たまがわ高等支援学校、府立みどり清朋高等学校、大阪商業大学高等学校へ貸出を実施。	H29.9	依頼があれば継続して実施する。	
							実施項目	○	○	○	○	実施	児童保育への団体貸出を継続実施中。R元年度の新型コロナウイルス感染症対策による図書館休館中には、希望する市立小学校の児童保育に児童書を届けた。	H24.3	依頼があれば継続して実施する。R5年度より、児童保育などへの団体貸出を拡大できるよう、登録情報や団体向けの利用案内等を改訂する。	
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(4)府立図書館等	近隣10市の図書館が利用できること、府立図書館の資料が利用できること、市民に公開されている大学図書館の情報などを周知			実施項目	○	○	○	○	実施	現在、10市と協定を結んでおり、相互に利用されている。大学図書館の情報も、各大学からのチラシ等を館内に設置している。	H28.4～	継続して実施する。	
8	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(1)四条図書館	(i)合築施設と親和性の高い機能を備える (ii)必要なスペースの確保			実施項目					検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に児童相談所と図書館を複合施設として再整備することが決定された。	H30	第二次図書館基本構想及び東大阪市児童相談所及び図書館整備に係る基本計画の中で具体的な検討を進めていく。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(2)永和図書館	モノづくりのまちを支える情報提供に努める			実施項目		○	○	○	実施	ビジネス支援サービスを付加した図書館として、新永和図書館が開館し、ビジネス支援コーナーの設置や商用データベースの提供、ビジネス支援レファレンスの実施など、モノづくりのまちを支援する情報提供に努めた。R4年度は「商工月報」を通じた広報を実施。他にも、包括連携協定締結企業に対し、電子申請・電子図書館・出張図書館・雑誌スポンサー等の内容を記載したチラシを配布。	R2年度	今後は、東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署等と連絡会を立ち上げ定期的な情報交換や意見交換を行い、東大阪ビジネス支援事業の情報発信に取り組めるよう努める。R5年度も「商工月報」を通じた広報を実施予定。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.4.移動図書館	移動図書館に代わる新たなサービスを模索する。例えば、郵送・宅配による貸出・返却サービスの導入やルート上の施設・団体等への団体貸出などを検討				検討項目	○	○	○	○	検討	行財政改革プラン2020に「移動図書館の見直し」を掲載。令和6年度までに取組を推進する。令和2年9月より郵送貸出サービスを開始。令和3年11月よりリージョンセンターでの出張図書館サービスを開始。	R2年度	第二次図書館基本構想の中で今後の在り方を検討する。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.5.街角図書館の普及促進	公共サービスを補完する取組を市内で盛り上げ、多くの市民が身近で本に触れ、交流する場を増やすことを目指す				実施項目		○	○	○	検討	街角図書館の取り組みの一つとして「家庭・地域文庫」があり、ボランティア団体「東大阪子どもと本・お話しネットワーク」に加入し活動されている。月1回会議には図書館も出席し活動状況等を情報交換している。さらに、市の施設等を活用し、図書館以外にも市民が身近に本に触れることができる場を増やすため、R4年度はHanazonoEXPOや花園中央公園で行われるイベントなどに出席して「出張図書館」イベントを開催した。	R3年度	第二次図書館基本構想の中で今後の在り方を検討する。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.6.中央館機能の確保	サービス網の整備と併せて、市立図書館のいづれかに中央館的機能を確保する				実施項目	○	○	○	○	実施	平成28年度より花園図書館が東大阪市立図書館の統括館として、対外的な窓口、各館の調整役等の中央館機能を果たしていたが、現在は永和図書館がその機能を継承している。	H28.4	引き続き取り組む。	
10, 11	4.図書館サービス網の整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(i)資料の質的な充実	漫画や新刊小説以外の資料も積極的に集め、市民にその利用を書架を通して提案する		実施項目	○	○	○	○	実施	各館ともジャンルや内容に偏りのない幅広い資料を選書収集し、様々なテーマで利用者の興味を引くような展示を行なうことで、利用の提案につなげている。R4年度は、東大阪市美術センターと連携し、R4年4月「秘密の花園」(花園)、R5年1月「プラチスラバ世界絵本原画展」(花園・永和)に関する資料展示を開催した。	H28.4	引き続き、偏りのない選書を行ない、魅力的な展示テーマで利用の提案に努める。R5年度も市美術センターと花園図書館が連携展示を開催予定。	
11	4.図書館サービス網の整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(ii)開架スペース・書庫の拡充	2館の再整備に当たり、開架スペースや書庫スペースの確保に努める		実施項目	○	○	○	○	実施	永和・花園・四条図書館の収容可能冊数がはるかに超えている状況であったため、大連行政センター跡地を書庫として活用した(H29.11)。その後暫定永和図書館は東大阪市立図書館「書庫運用要領」「廃棄選定基準」に沿って資料の有効利用のため書庫を効果的に運用してきたが、その後も図書館資料収容能力と蔵書冊数を見とすで収容能力を超える状態であった。しかし、新永和図書館の開館により資料収容能力が18万冊と大幅に増えて蔵書の充実が図られた。R4年度に旧大連行政サービスコーナーの書庫内の整理を開始した。	H29.11	引き続き、書庫の運用や廃棄など効果的な運用に取り組む。	
11	4.図書館サービス網の整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(iii)配架場所の分散化	団体貸出の利用を増やし、学校図書館やリージョンセンターへの配架、家庭・地域文庫への貸出を増やすことで市立図書館の蔵書の分散配置を進める		実施項目	○	○	○	○	実施	リサイクル資料100冊を東大阪市立障害児者支援センターレビラへ譲渡した。H30年度からR元年度まで特別養護老人ホーム「レーベンスボルト」へ団体貸出を実施した。R2年4月からは特別養護老人ホーム「レーベンスラウム」への団体貸出に変更している。老人ホーム内に永和図書館ミニ図書室を作られ利用いただいている。	H30.5	依頼があれば継続して実施する	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	R4年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R5年度～実施または予定している内容	備考
15	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(2)学齢期：学校図書館の充実を支え、より豊かな学校教育を	学校司書の全校配置が完了するまで、学校図書館をサポートする		実施項目		○	○	○	実施 (R3～)	市立小中学校では令和3年4月から、市内小中学校（義務教育学校を含む）全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう現在定員である19名の学校司書がいる。図書館では学校司書連絡会への出席や研修講演等によるサポートを実施している。	R3.4	引き続き、学校図書館、学校司書に対して支援を行う。	
15, 16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(3)社会人	(i)キャリアアップ！学びたい、もう1度働きたい私にチャンス	大学の発信する情報を積極的に収集し、市民の学びに役立つ情報を提供するよう努める	実施項目	○	○	○	○	実施	東大阪市内の4大学の図書館一覧リーフレットを作成し市民利用のための手続き方法を紹介している。また市民に役立つ情報として東大阪市内大学の公開講座の紹介リーフレットを作成し、配布している。R4年度、市内4大学へ電子図書館のリーフレット・ポスターを配付した。	H28.10	継続して実施している。R5年度からは大学構内で出張登録会や大学・大学図書館との連携イベントを開催予定	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(3)社会人	(ii)ビジネスに役立つ情報収集！図書館は私のビジネスパートナー	仕事に必要な資料や情報等を提供するサービス始める。更にビジネス情報活用のための講習会を行い、総合的な支援サービスの提供に努める	実施項目	○	○	○	○	実施	ビジネス・就労支援の専門資料は、約3,800冊所蔵している(R5年3月)。目的別に収集し貸出等を行っており、仕事に役立つ、特に市民のニーズにあったサービスに特化するビジネス支援資料の提供を行っている。令和4年9月に初心者向け投資講座を実施した。	H28.10	ビジネス情報活用のための講習会を施設環境が整っている永和図書館で取り組んでいる。関係機関から講師を招聘してビジネス支援講座の実施も予定。R5年4月から官報情報検索サービスを開始した(永和)。	
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	大活字本の充実、点字資料やデジタイズ資料の拡充を図る。デジタイズ図書は、現在市内のボランティア団体で作成していただいていることから、その支援の充実を図る		実施項目	○	○	○	○	実施	様々な資料を購入するとともに、サビエに加入したことで、視覚に障害のある方の幅広い希望に応えることができるようになった。また、身体に障害にある方には宅配サービスを実施している。	H28.4～	ウェブサイトや、図書館だよりなどで、サビエに加入していること及び、大活字本を始めとするバリアフリーの資料をPRしていく。	
16, 17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	大活字本等の資料の存在をアピールし、市民に幅広く利用していただけるよう、図書館のコンピュータ目録に登録し、検索・予約が容易にできるようにする。それと共に、音声データ（録音図書）の作成や利用に関する案内や支援の重視を図る		実施項目	○	○	○	○	実施	大活字本は図書館のコンピュータ目録に登録され、検索・予約は容易に可能。別途大活字本リストも作成している。また、ボランティアの協力により録音図書の作成を行なっている。録音図書もコンピュータ目録に登録しているが、一般の利用者が予約される可能性があるため、ウェブサイトには公開していない。R4年10月から当年度作成録音図書一覧を作成して図書館ウェブサイトにて公開。また、11月には、市政だよりを活用したり、障害者団体へのチラシを配付して録音図書の周知に努めた。	H28.4～	録音図書の利用に関する案内を作成し、館内に設置するとともに障害者支援団体にも配布する。また、録音図書を聞く機器を館内で利用できるよう、案内を設置する。	
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	図書館への来館が難しい障害者や高齢者のために、施設への団体貸出や出張貸出・朗読、宅配等のサービスを検討する	検討項目	○	○	○	○	○	実施	R元年度にリサイクル資料100冊を東大阪市立障害児者支援センターレビラへ譲渡した。H30年度からR元年度まで特別養護老人ホーム「レベンスボルト」へ団体貸出を実施した。R2年4月からは特別養護老人ホーム「レベンスボルト」へ団体貸出に変更している。老人ホーム内に永和図書館三図書館を併設し利用いただいている。	H30.5	継続して実施する	
						検討項目	○	○	○	○	○	実施	障害者向け宅配サービスを開始した	H30.4	継続して実施する	
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	高齢介護サービスなど高齢者向け公共サービス情報（パンフレットなど）や関連資料・情報を一連し揃えておく必要がある		実施項目	○	○	○	○	実施	関係機関から図書館にいただいたパンフレットを設置している。	H28.4～	今後は、さらに積極的に収集し、設置する	
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	高齢者向けの健康づくりや食生活に関する本や雑誌・新聞記事を提供する。新聞の家庭欄などには関連する記事が多いうえ、短くまとまっており、写真や図形も多く、分かりやすいため、テーマ別の切り抜きのファイルの提供や講座での配布資料の収集・提供にも努める		実施項目	○	○	○	○	実施	東大阪市内発行の情報誌や大阪府内から届けられる資料などを図書館内に設置している雑誌スタンドやブックスタンドに置いて自由に持ち帰っていただける。R4年度に永和図書館にて手話や点字等に関する資料を一般書・児童書問わず機能的にそろえた「バリアフリー図書」、幅広くニーズに応えた「シニア向け図書」コーナーを新たに整備、設置した。	H28.4	継続的に資料収集し、情報提供する。	
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	市の進める「協働のまちづくり」の担い手として期待される様々な地域の団体や、シルバー人材センターや老人クラブなど高齢者の参加を待っている団体の情報や、高齢者の関心が高いイベントの情報などを収集し提供に努める		実施項目	○	○	○	○	実施	東大阪障書福祉キャンペーン実行委員会主催「ふれあいのつどい」に図書館が参加し、点字体験のブースを出展した。イベントを通じて障害者やご家族と意見交換をおこない、併せて図書館の障害者サービス支援の取り組みなどをご説明した。令和3年度および4年度はイベント自体が中止。	R1.11	機会があれば継続して実施する	
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	まちづくりなど、高齢者等が自らの知識や技能、経験を活かして参画し協働することができるような図書館ボランティアの養成について検討する		検討項目	○	○	○	○	実施	東大阪朗読ボランティア「やまびこ」は録音図書の制作や対面朗読などのボランティアを図書館を拠点として活動しており、「やまびこ」自身でボランティアを募集し養成されている。必要の都度図書館は連携・支援している。	H28.4	図書館の本の配架や修理など図書館サービスにおけるボランティアを募集・養成し、図書館ボランティアとして参画し協働できる仕組みを検討していきたい。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	R4年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R5年度～実施または予定している内容	備考		
17, 18	4.図書館サービスの整備方針	4.3.情報発信・PR等の強化	フェイスブックなど様々な媒体を活用した情報発信・PRを強化する必要がある。少なくとも、図書館ホームページにおいて、今後取り組むサービスの一覧や各サービスの詳細等を示していくと共に、パンフレット・ポスター等の公共施設等への配置、広報への定期的な情報発信等、積極的なPRに努める。				実施項目	○	○	○	○		実施	・図書館ウェブサイトにてFaceBookのサービスを開始した。(R1.10) ・図書館から「新着お知らせサービス」を開始し、新着本やイベント情報などを定期的に発信している。(H30.4)	H30.4	継続して実施する		
							実施項目	○	○	○	○		実施	・H28.9月ボランティアイベント「えほんはともだち」で利用者登録の受付を実施した。 ・H29.11月に社会福祉施設若草園主催の近隣住民とのイベントに参加し2名の新規登録があった。 ・H29.12月にハローワーク布施主催の「モノづくり女子応援セミナー」に共催で参加し3名の新規登録があった。 ・H30年度からドリーム21で「こちら花園図書館出張所」を開催し、H30年度4件、R元年度5件の新規登録があった。(R2年度からは新型コロナウイルスの影響により実施していない) R3.9月市役所1Fロビーにて電子図書館体験会&出張登録会を実施。シェアオフィスリクワエルノールにてポスター(小)を掲示。 R4年11月にHANAZONO EXPOにて電子図書館体験を中心とした出張図書館を開催。包括連携協定締結企業に対し、電子申請・電子図書館・出張図書館・雑誌スポンサー等の内容を記載したチラシを配布。	H28.9	継続して実施する R5年度も、HANAZONOEXPOには出張図書館として出店予定。		
							実施項目	○		○	○		実施	H30年9月よりブックスタート会場出張登録会を開催し、H30年度44件、R元年度43件の新規登録があった。 (R2年度は新型コロナウイルスの影響により実施していない) R3年度は東大阪市役所1階ロビーで出張登録会を開催し、46件の新規登録があった。 R4年度はHANAZONO EXPOにて出張図書館を開催し、13件の新規登録があった。 また、出張図書館へのタブレット持参を開始。 R4年5月より東大阪市電子申請システムでの新規の利用登録申請受付を開始。R5年3月末までに447件の新規登録があった。	H30.9	継続して実施する		
							実施項目	○					実施	令和元年度、夏休み前に小学校へ配布した図書館案内用紙での新規登録が49件あった。	R1.7	効果的な配布方法について学校教育推進室と協議・調整する。		
							実施項目						○	実施	R4年度「商工月報」を通じた広報を実施。	R4.11	継続して実施する	
							実施項目							○	実施	包括連携協定締結企業に対し、電子申請・電子図書館・出張図書館・雑誌スポンサー等の内容を記載したチラシを配布。	R4	継続して実施する
21, 22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(1)各種プログラムの実施	(i)レクリエーション (ii)乳幼児向けお話し会	絵画・工作・歌・手遊び・体操等を親子で楽しみ、学ぶプログラムを定期的に開催する 絵本等の読み聞かせについて、子育て支援サービスに注力する館では、年齢層別に、かつ高頻度での開催を旨とする		実施項目	○	○	○	○	実施	H30年4月から「ほっこりライブラリ」を開催。4ヶ月～就学までの子どもと保護者対象。ベビーマッサージ・ふれあい遊び・手作り・読み聞かせ・わらべ歌など。 R1年4月から「おはなしのどひら0.1.2.」を開催。0.1.2歳の子どもと保護者対象。読み聞かせ・手遊びなど。 それらを、R3年10月からは「ベビータム」という名前に変更し、第4水曜日に実施している。館内で子どもが少々声を出しても構わない時間としたほか、ボランティアとともに、手遊びや絵本の読み聞かせを実施。 R4年4月からは第2水曜にも「ベビータム」を実施し、「みんなでハッピーバースデー」を開催。同じ誕生日の子どもとその保護者が集い、意見交換や交流ができる場を作っている。	H30.4	継続して実施する			
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(2)専用スペースの設置	子ども向けの専用スペースの設置			実施項目					○	検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。 R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に児童相談所と図書館を複合施設として再整備することが決定された。	H30	第二次図書館基本構想及び東大阪市児童相談所及び図書館整備に係る基本計画の中で具体的な検討を進めていく。		
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(3)子育ての助けになる資料・情報等の収集・集約	育児に関する専門図書・資料と市内の子育て情報(地域のミニコミ誌等のフリーペーパーや子育てサークル・団体等のチラシ類、更に子育て卒業者からの寄贈資料など)を中心に収集を強化する			実施項目	○	○	○	○		実施	平成30年4月から育児・子育てに関する資料や子育てサークル・団体等のチラシ類、乳幼児のCDを集約していた資料を子育て支援コーナーにまとめた。	H30.4	継続して実施する		
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(4)情報収集等の支援	(i)レファレンス	利用者が望む資料・情報について、対面で相談・支援する		実施項目	○	○	○	○		実施	カウンターで対面の相談・支援を行う。その他、関係機関からの子育て支援に関するチラシなどを常設。	R1.9	継続して実施する		
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(4)情報収集等の支援	(ii)保護者向け講習会	資料・情報等の活用法の講習会(「絵本の楽しみ方」「胎教による音楽」「食育」「ほめ方・叱り方」など)を実施		実施項目	○	○	○	○		実施	「ほっこりライブラリ」(R3年度以降は「ベビータム」)のときに利用者の方と話をし対応。 乳幼児向け行事開催時、参加者との会話の中で子育てに必要な情報を提供。子育て支援コーナーを設ける。	H30.9	継続して実施する		
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(5)専門機関と連携したサービス	(i)専門職・機関等への相談取り次ぎ	子育てについて専門的な相談を必要とする利用者、関係機関(子育て支援センターや保健センター、家庭児童相談室等)の専門家への取り次ぎを行い、すみやかに相談が受けられるよう支援する		実施項目	○					実施	子育て支援センターあさひっこ主催の「今日は絵本とおはなしひろば」に参加した。R2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により中止。	H28.4	新型コロナウイルスの状況のみながら再開する		
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(5)専門機関と連携したサービス	(ii)出張相談会・イベント等	専門機関が平日に実施している相談会やイベントを、図書館内にて定期的(特に土日等の休日)に出張して開催してもらうことで、平日に専門機関に行くのが難しい保護者を支援する		実施項目	○	○	○	○		実施	関係機関へのイベント参加「ツイズクラブ」「あさひっこ」各関係機関からのパンフレット・イベントチラシなどを集め、子育て支援コーナーに常設。	H29.5	継続して実施する		

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	R4年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R5年度～実施または予定している内容	備考	
23, 24	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(6)休日サービスの柔軟な導入	講座・レクリエーション等の休日開催に努める			実施項目	○	○	○	○	実施	令和2年度までは「お楽しみ会」を第3土曜日に年間5回程度実施。内容は紙芝居・手作り等。そのほか「おはなしの部屋」毎月第4土曜日、「ほんをよもう」毎月第1日曜日、「キユ〜たんおはなし会」毎月第1土曜日、「お話大好きおむすびころりん」毎月第4日曜日のように土曜日・日曜日の休日に行っている。 令和3年度以降は、「お楽しみ会」に代えて、ロボットを使ったプログラミングワークショップやものづくりワークショップなど、特別行事を土日に開催(年3〜4回)。また、「ほんをよもう」を休止し、毎月第3水曜、大人工作・子ども工作・折り紙教室を月替わりで行う、「四条ワークショップ」を実施している。	H28.5	継続して実施する		
24	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(1)乳幼児・親や保育者向けの設備・対応等 (2)施設				実施項目					検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に児童相談所と図書館を複合施設として再整備することが決定された。		第二次図書館基本構想及び東大阪市児童相談所及び図書館整備に係る基本計画の中で具体的な検討を進めていく。		
25	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(3)子育ての助けになる資料・情報の配架スペース	関係機関や団体等のパンフレット・チラシ・フリーペーパー類を収集・配架する			実施項目	○	○	○	○	実施	関係機関や団体等のパンフレット・チラシ・フリーペーパー類を収集して子育て支援コーナーに配置。	H29.4	継続して実施する		
25	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(4)担当要員の配置・確保	通常の司書としての知識やスキルに加え、子育て支援に関する十分な知識を有する職員の配置やスキルのある市民の支援を受けることで、質・量共に充実したサービスの円滑な実施を図る			実施項目	○	○	○	○	実施	「大阪府子ども読書活動推進について」の研修へ参加。他市の子育て支援の研修への参加。行事参加ボランティアなどに講習会を行う。 令和3年度は大阪公共図書館協会児童サービス基本研修、大阪府子ども読書活動推進ネットワークフォーラム、大阪府図書館司書セミナーや社内児童研修に参加。 R4年度は大阪公共図書館協会児童サービス基本研修、大阪府子ども読書活動推進ネットワークフォーラム、大阪府図書館司書セミナーや社内の児童サービス研修、大阪子ども文庫連絡会の児童文化講座に参加。	H30.4	R5年度も、各種研修会・講演会等に継続して実施する		
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(1)必要なスペースの確保	新築もしくはリニューアルする2館において、子育て支援サービスを実施する場合は、資料の配架と閲覧に必要な十分なスペースの確保を最優先した設計とする必要がある			検討項目						検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に児童相談所と図書館を複合施設として再整備することが決定された。		第二次図書館基本構想及び東大阪市児童相談所及び図書館整備に係る基本計画の中で具体的な検討を進めていく。	
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(2)専用コーナーへの資料の集約	3館2分室の開架及び書庫に散在する関係資料から、今回専用コーナーに集約する資料の選別、古く陳腐化した資料の除籍及び処分、新たに収集する資料の選定、それら資料の配置など、資料収集・集約・配架のために多くの準備作業が必要			検討項目	○		○	○	○	実施	除籍資料の整理と選書基準に基づき、子育て関係の収集、CDの収集の継続。各館から資料を移管した。	R1.8	継続して実施する	
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(3)3館2分室との役割分担の整理	新たに子育て支援サービスの中心となる館に、資料等やプログラムをどの程度集約し、他の施設のサービスはどの程度継続するのか、運営体制の観点からも検討・整理が必要			検討項目						検討	第二次図書館基本構想及び東大阪市児童相談所及び図書館整備に係る基本計画の中で具体的な検討を進めていく。		継続的に検討する。	
25, 26	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(4)関係機関との連携	サービス開始前から定期的に情報交換や意見交換を行う。年間での出張相談や出張イベントの計画を共同で作成するなど、双方の担当職員が継続的に取り組む必要がある			検討項目	○					実施	保健センターの「ツインズクラブ」や旭町子育て支援センター(あさひっこ)主催の行事へ参加し、関係機関との連携に取り組んでいる。定期的な情報交換や意見交換を通じて出張イベントを共同企画なども検討していきたい。		継続して実施する	
26	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(5)利用拡大(立地・PR)	(i)館の立地	子連れで気軽に立ち寄れるよう立地条件を整える		検討項目						検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に児童相談所と図書館を複合施設として再整備することが決定された。		第二次図書館基本構想及び東大阪市児童相談所及び図書館整備に係る基本計画の中で具体的な検討を進めていく。	
26	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(5)利用拡大(立地・PR)	(ii)広報・PR	市のホームページや広報等の様々な媒体を通じ、サービス内容の周知を繰り返す必要がある		検討項目	○	○	○	○	○	実施	「まなびにトライ」・民間の広報媒体などへ掲載し、いろいろな媒体を通じてイベントや展示、サービスなどを周知している。 R4年度に都市魅力産業スポーツ部PR冊子「Hi」で電子図書館等の周知を実施。 また、8月に生涯学習課の出前講座として「つどいの広場 キッズステーション」にて出張おはなし会(手遊び・読みきかせ等)を開催。	H30.7	継続して実施する	
27	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(1)学校図書館での館外資料の利用	(i)図書館同士の連携	他校の資料、市立図書館の資料、市立図書館を介した市外(国会、府立、他市)の図書館の資料を、学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供する		実施項目	○	○	○	○	○	実施	小学校から授業で使う本の依頼があった際に団体貸出を行っている。	H29.12	継続して実施する	
27	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(1)学校図書館での館外資料の利用	(ii)学校図書館の蔵書の充実	団体貸出の仕組みを活用し、市立図書館の多数の資料を一定期間(月単位)貸し出し、定期的に入替えることで、学校図書館の蔵書を充実させる		実施項目	○	○	○	○	○	実施	H30年度から、花園中学校区(花園小・花園北小・玉串小)をモデル校として団体貸出をしていたが、令和3年度からは、モデル校対応でなく、学校司書等を通じてリクエストに応えるなど、各校に適した団体貸出を市内全域で実施している。 R3年6月に電子図書館の利用を学校で開始し、R4年4月からは電子図書館で児童書の読み放題コンテンツを導入。	H30.2	継続して実施する。 R5年4月より、「ひがしおおさか電子図書館」に読み放題コンテンツ325タイトル追加し、全425タイトルとし、さらなる利用拡大を図る。	
27	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(2)学校図書館の開館時間の拡大	学校図書館の開館時間を拡大できるよう支援する			実施項目			○	○	○	実施	令和3年度から配置された学校司書の取組に協力することで、学校図書館の開館時間の拡大など学校図書館の充実に繋がるよう支援する。	R3.4	継続して実施する	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	R4年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R5年度～実施または予定している内容	備考		
27	2.学校連携	2.1.必要機能(提供サービス)	(3)本と利用者をつなぐ人によるサービス	教職員や児童・生徒の本の選択を支援し、ブックトークや読み聞かせ、ストーリーテリングのような本に親しむプログラムを行うなど、人によるサービスの充実を支援する			実施項目			○			実施	・H29年3月に花園小学校1・2年生対象で出張おはなし会(絵本紹介・大型絵本・大型紙芝居・エプロンシアター・図書館利用案内)実施。 ・H31年3月に意岐部小学校3・4・5年生対象で出張おはなし会(ブックトーク・大型絵本・エプロンシアター・図書館利用案内)実施。	H29.3	継続して実施する		
							実施項目				○	○	実施	・小・中・高等学校で出張読み聞かせ講習・出張ブックトーク・図書館利用案内を実施。	H29.3	継続して実施する		
							実施項目	○	○	○	○	○	実施	・館内案内・利用案内・質疑応答・利用登録・書架整理・カウンター業務・本の装備などの体験を実施。 ・R元年度見学実施の意岐部小より見学の感想をまとめた壁新聞を図書館で展示してほしいとの依頼があり、児童コーナーで展示した。 ・H28年度より布北高校インターンシップ・デュアル研修を実施。 ・H28・H29年度は小学校教員10年目研修を実施。 ・大学生の司書課程図書館実習やインターンシップを実施。	H28	継続して実施する		
							実施項目	○	○	○			実施	・H28年5月に永和図書館に見学に来られた学校と意見交換を実施。 ・H28年6月に四條図書館オープン挨拶に周辺の小中学校を訪問し、意見交換を実施。 ・H28年12月に花園図書館周辺の英田校区、花園校区の小中学校と意見交換を実施。 ・H29年2月に花園小を訪問、H30年に花園北小を訪問。 ・R3年は新喜多中・西堤小・藤戸小を訪問。	H28.5	継続して実施する		
						実施項目	○	○	○	○	○	実施	・R3年度、出前講座として「調べる学習」を西堤小・加納小にて実施。 ・R3年度、藤戸小において、あらすじカードを作成し、永和図書館マルチホールで展示。 ・R3年度、樟蔭中で実施の「花育プロジェクト」の一環として、大運分室に中学生の育てた花を飾る。		依頼があれば、継続して実施する。 R5年度は東大阪市後援、図書館主催で「第1回東大阪市 図書館を使った調べる学習コンクール」を開催予定。			
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(1) 図書館システムとの連携	(i) 学校図書館システムへの支援 (ii) 学校図書館の蔵書へのバーコード貼付 (iii) 図書館システムとの連携に必要な設備等の整備	学校図書館システムの構築にあたっては、図書館システムとの連携を視野に入れて支援を行う		実施項目						未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。 R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。 R4年度、年4回の学校司書連絡会へ参加。内1回は図書館が講師となって、「学校図書館の配架・分類に関する講座」を行った。		第二次図書館基本構想の中で今後の在り方を検討する。		
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(2) 学校図書館への学校司書の配置	学校司書の配置を支援する			実施項目			○	○	○	実施	市立小中学校では令和3年4月から、市内小中学校(義務教育学校を含む) 全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう現在定員である19名の学校司書がいる。	R3.5	継続して実施する		
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(3) 手帳の発行、記帳機の学校図書館への配置	「読書手帳」(冊子)を児童・生徒数分だけ準備すると共に、児童・生徒が手帳を挿入し借りた本の書名等を記帳する機器等を学校図書館に配置する必要がある			検討項目							未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。 R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。 R4年度、年4回の学校司書連絡会へ参加。内1回は図書館が講師となって、「学校図書館の配架・分類に関する講座」を行った。		第二次図書館基本構想の中で今後の在り方を検討する。	
29	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(1) 学校図書館システムへの蔵書登録等 (2) 学校図書館システム・記帳機等の学校図書館への導入				検討項目							未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。 令和3年4月から、市内小中学校(義務教育学校を含む) 全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集し、現在は定員である19名が採用されている。7月に行われた第1回の学校司書連絡会において、永和図書館長が学校連携に関する講演を行った。 R4年度、年4回の学校司書連絡会へ参加。内1回は図書館が講師となって、「学校図書館の配架・分類に関する講座」を行った。		第二次図書館基本構想の中で今後の在り方を検討する。	
29	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(3) 学校司書の配置	一斉に配置するのではなく、まず半数の学校から段階的に配置することや、1名の学校司書が2校を受け持つ方法でスタートすることが考えられる			検討項目			○	○	○	実施(R3～)	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。 令和3年4月から、市内小中学校(義務教育学校を含む) 全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集し、現在は定員である19名が採用されている。7月に行われた第1回の学校司書連絡会において、永和図書館長が学校連携に関する講演を行った。 R4年度、年4回の学校司書連絡会へ参加。内1回は図書館が講師となって、「学校図書館の配架・分類に関する講座」を行った。	R3.5	引き続き、学校図書館、学校司書に対して支援を行う。		

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	R4年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R5年度～実施または予定している内容	備考
29	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(4) 学校司書の研修	新たに雇用される学校司書にとって、情報を交換し、学びあうことができる場が必要			検討項目			○	○	実施 (R3～)	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。 令和3年7月と8月に開催された学校司書連絡会に参加し、講義や意見交換等を行った。 R3年12月の第3回、R4年3月の第4回の学校司書連絡会において、学校司書より要望の多かった「図書館での分類、整理の基礎」、「資料の修理」等について図書館が講師となって研修を行った。 R4年度、年4回の学校司書連絡会へ参加。内1回は図書館が講師となって、「学校図書館の配架・分類に関する講座」を行った。	R3.7	引き続き、学校図書館、学校司書に対して支援を行う。	
30	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(1)専用コーナーの設置	仕事に役立つ大抵の資料が揃っているような専用コーナーの設置に努める			実施項目	○	○	○	○	実施	ビジネス支援資料の所蔵はH28年10月から継続して購入し約3,800冊(R5年3月)となり、仕事に役立つ資料の配架は充実してきている。 閲覧室、パソコン席、サビスカウンターなど閲覧環境も整った(R2.5)。	R2.5	資料の購入を継続する。	
30, 31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(2) 充実した閲覧環境	パソコンの持ち込みにも対応し、電源コンセントを備えた、さまざまな資料を広げやすいテーブルを必要数配置すると共に、インターネット検索による調べものも可能なよう、インターネットに接続できるLAN環境も備えた閲覧コーナーを設ける			実施項目	○	○	○	○	実施	持ち込みパソコンの利用が可能となるよう各テーブルに電源コンセントを設置した。また、ビジネス支援用のパソコンの設置により商用データベースを利用できるようにし、有料で印刷もできる環境を整えた。	R2.5	継続して閲覧環境の整備に努める。	
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(3) 仕事に役立つ資料の収集・集約	専用コーナーでは、仕事に役立つ情報・資料の収集を強化すると共に、3館2分室に散在する既存の関係資料等を集約する。資料・情報は、地域のフリーペーパーも含め幅広く収集する。加えて、このようなジャンルの資料・情報は陳腐化するのも早いことから、専用コーナーに置く資料の更新・入替え等には十分注意する			実施項目	○	○	○	○	実施	ビジネス支援資料の所蔵数：約3,800冊(R5年3月) 仕事に役立つ、市民のニーズに合った資料を中心に収集。 モノづくり関係業界新聞、東大阪市を中心に関西に本社のある企業へ社史等寄贈を依頼した。 業界新聞（14社）、社史等(55社)を所蔵	H28.10		
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(4)利用の支援	(i)情報収集支援ツールの提供	ビジネス情報リストや記事索引、レファレンスの事例、パスファインダー等を整備し、提供する		実施項目	○	○	○	○	実施	商用データベースの使いかた、ビジネス支援相談案内などを作成し配布している。 商用データベースの利用案内を作成し、ビジネスコーナーに掲示している。	R2.5	継続して情報収集支援ツールの提供に取り組む。	
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(4)利用の支援	(ii)専門職員によるレファレンス	専用コーナー担当の職員を配置し対応する		実施項目	○	○	○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(4)利用の支援	(iii)使い方講習会	専門資料でデータベースの基本的な使い方や、便利なツール・活用方法等について、専用コーナー担当の専門職員による講習会を定期的に開催する。また、インターネット検索で調査する人のために、インターネットやデータベースの簡単な効果的な使い方や、インターネット上で信頼性の高い情報の見分け等、利用者が便利に感じるハウツーについて講習する		実施項目		○	○	○	実施	使い方講習会の開催を計画していたが、新型コロナウイルス拡大防止対策面から延期し、インターネットやデータベースの使い方を紙ベースで作成し配布している。 R4年9月、初心者向け投資講座を実施。	R2.5	インターネットやデータベースの使い方など机上ベースから実践的な講習会を開催する。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(4)利用の支援	(iv)連携する専門家・機関等への取り次ぎ	利用者が専門家への相談を必要とする際には、関係機関への取り次ぎを行い、すみやかに相談が受けられるよう支援する		実施項目	○	○	○	○	実施	求人情報・就職活動などの情報提供をハローワーク布施と連携し、就労支援イベントの共同開催や就労関係及びビジネス関連のポスターやチラシ掲示等を双方施設内に常設する取組みを実施。 ビジネス支援も含めたレファレンスコーナーの開設。	H28.11	商用データベースのサービス提供。 商工会議所、市経済部モノづくりやチラシ掲示等と関係機関との連携。 ビジネス支援担当者の育成による利用者サービス向上の取組み。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能（提供サービス）	(5) 夜間開館の柔軟な導入	ビジネス支援サービスについて、平日夜間の開館について曜日・時間帯を検討し、仕事帰りに立ち寄りやすい方にとって最適な開館時間を設定する			実施項目	○	○	○	○	実施	ビジネス支援も含めたレファレンスコーナーの開設。	R2.5	継続して実施する	
32, 33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(1) 仕事に役立つ資料の配架スペース	ビジネス書や専門書等の図書のほか、DVD等の映像資料（配置するPCもしくは持ちこみPCで閲覧）、市内の産業・雇用関係機関や事業所等のカタログ、パンフレット、フリーペーパー類を収集・配架する。 新聞は「日刊工業新聞」「日経産業新聞」等、雑誌は「日経ものづくり」等を配架する			実施項目	○	○	○	○	実施	永和図書館にビジネス支援コーナーを設置し、就労・資格、ビジネス書、専門書及び雇用関係、ビジネス関係のパンフレット類を配架。	H28.10	引き続き、専門書等の配架に努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2) 閲覧環境	(i)閲覧室兼講習室	パソコンの持ち込みにも対応し、電源コンセントを備えた、さまざまな資料を広げやすいテーブルを配置し、インターネットに接続できる無線LAN環境を提供する。壁にはホワイトボードやスクリーンを備え、講習会の会場としても使えるようにする		実施項目	○	○	○	○	実施	ビジネスマン向けに持込パソコンでIT環境支援のため無線LANサービスを提供。	H28.10	ビジネス支援専用のパソコン席、情報収集支援ツールの提供など充実した閲覧環境の提供を継続して実施する。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2) 閲覧環境	(ii)パソコン席	インターネット検索による調べものも可能なよう、インターネットに接続でき、DVD資料が閲覧できるパソコンを設置した席を設ける。また、有料で印刷やコピーができる複合機を設ける		実施項目	○	○	○	○	実施	パソコンを設置し、商用データベースを導入して有料で印刷できる環境を整えた。	R2.5	継続して閲覧環境の整備に努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2) 閲覧環境	(iii)サービスカウンター	職員が資料の貸出・返却、各種対応等を行うカウンターを設ける		実施項目	○	○	○	○	実施	ビジネス支援も含めたレファレンスコーナーを設置し、兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	R4年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R5年度～実施または予定している内容	備考
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2) 閲覧環境	(IV)資料探し相談コーナー	サービスカウンターに隣接し、資料の探し方等の相談にのり、お手伝いをするレファレンスサービスのためのスペースを設ける。館内外の資料等の検索端末を設置する他、各種バスファインダー等も置く		実施項目	○	○	○	○	実施	ビジネス支援を含めたレファレンスコーナーを設置し、兼任によるビジネス支援担当を配置している。レファレンスコーナーにはパソコンを設置し、商用データベースを導入して有料で印刷できる環境を整えた。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。継続して閲覧環境の整備に努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(3) 専用コーナー担当の司書職員の配置	資料の選定・収集・入替えや、レファレンス、講習会の実施、専門の関係機関との連携等、専用コーナーを運営する職員が必要となる。このため、通常の司書としての知識やスキルに加え、ビジネス支援に関する十分な知識を有する職員の配置に努める			実施項目	○	○	○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置し、さらにスキルアップに努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(1) 専用コーナーへの資料の集約	3館2分室の開架および書庫等に散在する関係資料から専用コーナーに集約する資料を選別する。その際、古く陳腐化した資料等の除籍及び処分も行う。新たに収集する資料の選定、それら資料の配置など、多くの準備作業が必要となる			検討項目	○	○	○	○	実施	永和図書館はビジネス支援サービス担当館として、仕事に役立つ、市民に役立つビジネス支援資料の提供をめざして、ビジネス・資格・業界・就労・パソコン・モノづくり・東大阪・機械加工・中小企業・社史に分類し収集を始めた。ビジネス・就労支援の専門資料など所蔵冊数は約3,800冊所蔵している(R5年3月)。	H28.10	継続して資料収集に取り組む。	
33, 34	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(2) 必要なスペースの確保	市立図書館はいずれの館・室も手狭で、十分な広さの確保が長年の重要課題となっている。今回3館のうち1館が新築、1館がリニューアルの予定となっていることから、この2館にて本サービスを実施する場合は、資料の配架及び閲覧に適切なスペースの確保を最優先して設計を行う必要がある			検討項目	○	○	○	○	実施	新永和図書館となり、暫定永和図書館の約2倍の延べ床面積（暫定永和：697㎡、新永和：1300㎡）となり、暫定永和の蔵書冊数：135,000冊（R1.2）に対して新永和蔵書スペースは開架：85,000冊、閉架：105,000冊があり、55,000冊の余裕ができた。	R 2.2	新永和図書館の広いスペースを有効に活用し、継続してビジネス・就労支援の専門資料などの資料収集に取り組む。	
34	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(3) 利用拡大（立地・PR）	(i) 館の立地	・交通機関の要所に近い所に立地する必要がある ・子育てで離職中の主婦が、子連れで仕事や資格探し等に来館することも考慮し、駐車場が確保されていること ・連携する産業支援等の関係機関等と近接しており、各機関等に取り次ぐ場合に利用者が足を延ばしやすいこと ・商業施設やオフィス等、多くの人の出入りがある他の施設と隣接し（或いは合築され）、いわゆる「ついで利用」や「ながら利用（カフェに本を持ちこみ読書等）」が容易で、図書館の存在をアピールしやすいこと、等		検討項目	○	○			実施	R2.5月に新永和図書館に移転し、立地環境は暫定永和時と比較すると、近くに交通機関があることや複合施設内にあり大きく相違はないが、新永和が東大阪商工会館内にあることや日本政策金融公庫東大阪支店が近くにあることなどビジネス支援で連携する関係機関と近接し、各機関との連携がとりやすい環境となっている。	R 2.5	産業支援等の関係機関（東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署、日本政策金融公庫東大阪支店等）と連携し東大阪ビジネス支援サービスに取り組む。	
34	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(3) 利用拡大（立地・PR）	(ii) 広報・PR	市のホームページや広報等の様々な媒体を通じ、サービス内容の周知を繰り返す必要がある。また、利用促進のためのツールや仕掛けを用意する等の工夫も検討していく必要がある		検討項目	○	○		○	実施	暫定永和図書館時代から布施公共職業安定所と連携し、求職活動中の人に就職情報や資格試験情報など図書館資料を情報提供することや相互の機関が開催する場所などに出向き図書館サービスのPRを行ってきた。R4年度は「商工月報」を通じた広報を実施。その他にも、包括連携協定締結企業に対し、電子申請・電子図書館・出張図書館・雑誌スポンサー等の内容を記載したチラシを配布。	H28.10	新永和図書館においてビジネス支援コーナーでの閲覧環境やサービスカウンターの設置などが整い、図書館ウェブサイトや連携機関など様々な広報媒体を使って利用者増に向けて取り組んでいく。R5年度も「商工月報」を通じた広報を実施予定。	
35	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(4) ビジネス支援の知識を有する司書の配置	業務に関連する知識やノウハウを有する司書の配置に努める			実施項目	○	○	○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	
35	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(5) 関係機関との連携	サービス開始前から定期的に情報交換や意見交換を行い、双方の担当職員が継続的に連絡を取り合うよう努める			実施項目	○	○			実施	暫定永和図書館時代から大阪府立中之島図書館やハローワーク布施などと情報交換や連携イベントなど行っている。	H28.10	東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署、日本政策金融公庫等と連絡会を立ち上げ定期的な情報交換や意見交換を行い、東大阪ビジネス支援事業の情報発信に取り組む。	